

平成 30 年度末下水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について

○小口径管路からの下水熱を利用した融雪技術の実用化に関する実証事業（東亜グラウト工業・丸山工務所・十日町市共同研究体）

実証施設の設置が完了し、データの取得や整理が進み、当初の目的に対して一定の成果が得られた。

今後は、降雪時等の更なるデータ蓄積、効率的な運転のための適切な制御条件の確認、総費用（年価換算値）の縮減効果の確認、本技術の適用範囲や適用条件の確認等が必要なことから、平成 31 年度も引き続き研究を実施し、ガイドライン化を図ることが望ましい。